

国会終了後 大平議員直ちに 鳥取中部地震の被災地へ

災害特での論戦も報告しながら被災地の声を聞く



12月15日の未明の国会の事実上の閉会直後、大平喜信衆議院議員は飛行機で鳥取入りし、二日間にかけて鳥取県中部地震の被災地の調査と被災者

被災自治体の激励を行いました。

大平議員は、被災自治体の首長さんらに、国会の災害対策特別委員会で鳥取県中部地震の被災者支援問題での論戦を紹介しながら実情を聞き、国としての財政的な支援を強めるための奮

闘を約束しました。(写真左は倉吉市の被災地、右はブルーシートが掛けられたままの倉吉市街地)

倉吉で学生のつとめ・民青への加盟を決意する若者も

大平喜信衆議院議員は、15日夜倉吉市で開催された「日本共産党といっしょに日本を変えるネットワーク鳥取」主催の「学費・奨学金を語る集い」に参加し、学生たちと交流しました。(写真)

大平議員は国会の文部科学委員会でこの問題を取り上げたことを報告し日本の高すぎる大学学費と貸与型奨学金の異常さを指摘、その改善の方向を提案しました。

参加した学生からは「学費が高すぎて4年生大学を諦めた」などの現状が出されました。参加者から民青同盟に加盟する学生もいました。



岡山・山口で県党会議・総選挙勝利・大運動成功へ

大平議員・垣内2次候補が決意の訴え

岡山県・山口県の両党組織は18日に党大会めざす県党会議を開催しました。

大平衆議院議員は両方の党会議に参加、垣内氏は岡山でそれぞれ党大会成功・総選挙勝利への決意を表明しました。(写真左は大平議員、右は垣内京美氏)